

「第6回太平洋・島サミット」(2012年) の誘致について



沖縄県

◆「第6回太平洋・島サミット」沖縄開催に向けての取り組み

平成22年4月7日：

外務省アジア大洋州局大洋州課長名にて都道府県副知事等あて通知

*「2012年第6回太平洋・島サミットの開催誘致希望取りまとめについて」

平成22年4月28日：

「第6回太平洋・島サミット説明会」(外務省アジア大洋州局大洋州課)

* 沖縄県を含む18都道府県4政令指定都市が参加

平成22年5月26日：

安里カツ子沖縄県副知事が関係省庁等へ要請

平成22年5月31日：

沖縄県から外務省あて必要書類の提出

* 提出書類「第6回太平洋・島サミット開催のための施設等の必要条件」
(1会議施設 2宿舎 3空港)

平成22年6月～7月：

開催候補地の現地実態調査(外務省アジア大洋州局大洋州課)

平成22年11月～12月：

中間会合(閣僚会合)にて開催地の発表

<参考>

*「太平洋・島サミット」

1. 会議概要

日本と大洋州諸国との関係を強化し、同地域の発展に取り組むことを目的に、日本政府が主催し平和・教育・環境・経済成長・開発などの問題解決を話し合う国際会議である。

同会議は太平洋諸島フォーラム(PIF)に加盟する14ヶ国2地域と日本が参加し、3年に1回日本で開催される。

2. 開催経緯

- | | | |
|-----|---------|---------------|
| 第1回 | 平成9年10月 | 東京都 |
| 第2回 | 平成12年4月 | 宮崎県 |
| 第3回 | 平成15年5月 | 沖縄県名護市(万国津梁館) |
| 第4回 | 平成18年5月 | 沖縄県名護市(万国津梁館) |
| 第5回 | 平成21年5月 | 北海道占冠村 |

第6回 太平洋・島サミット

(2012年)
沖縄開催のご提案



1. 開催をご提案する4つの理由

第6回太平洋・島サミットを沖縄で！

その①

受入体制充実

- ・過去2回の開催実績
- ・アクセス、施設等充実

その②

参加国との共通性

- ・サンゴ礁保全等
- ・気候風土、島嶼性

その③

太平洋地域連携強化

- ・JICAプログラム等

その④

きめ細かなサービスで主催者及び参加者をサポート

- ・行政、教育、産業界による支援

沖縄開催



2. 本会議場及び総理晩餐会会場など

A案：万国津梁館

- ・2000年「G8サミット首脳会合」開催会議場
- ・第3回、4回「太平洋・島サミット」開催会議場
- ・その他豊富な開催実績を有し運営面で安心
- ・宿泊先やパーティ会場が豊富



会場周辺ブセナ岬全景



サミットホール

B案：沖縄コンベンションセンター

- ・第46回IDB(米州開発銀行)年次総会開催会場
- ・第21回太平洋学術会議開催会場
- ・その他豊富な開催実績を有し運営面で安心
- ・宿泊先やパーティ会場が豊富



コンベンションセンター全景



会議場